

大正11年(1922年)12月1日、埼玉県初の市制施行「川越市」が誕生。令和4年(2022年)12月1日市制施行から100周年を迎えました!

川越市更生保護女性会は昭和41年5月の発足から56年。現在221名の会員が活動を続けております。川越市のさらなる発展を願い、私たちも努力を重ねてまいります。



かわごえ
更女たより

川越市更生保護女性会
第25号

コロナ禍での活動

会長 新井 とよ



テレビや新聞の報道にコロナウイルス感染者の減少が見られます。コロナ禍での更生保護活動の多くが自粛等により中止せざるを得ない状況にありましたが、「社会を明るくする運動」での(愛の募金活動)は行われませんでした。会員の努力で地域の皆様にご理解とご支援をいただくことができました。愛の図書費は中学校7校に、清心寮、川越少年刑務所にも例年通りの支援をお

更生保護女性会とは

更生保護

「更生保護」は、犯罪や非行をした人が地域社会で立ち直れるように支援するとともに、犯罪や非行のない明るい社会を作るための国の事業です。(所管：法務省)

更生保護女性会とは

「更生保護女性会」は、ボランティアとして更生保護事業に進んで協力し、だれもが人として尊重され、心豊かに生きられる明るい社会づくりを目指して活動する女性たちが中心となった集まりで、全国に約1300ある「地区更生保護女性会」が基本的な組織です。

スタートは、昭和24年に更生保護制度が発足した際、全国各地に更生保護婦人会として組織され、平成15年、更生保護女性会に名称変更しました。

活動の基本姿勢

- ✳ 更生保護に対する人々の理解を広め、更生保護活動にたずさわる人々と連携し、次代を担う青少年の健全な育成に寄与する活動を展開するとともに、過ちに陥った人たちの更生のための支えになります。
- ✳ 一人ひとりが人として尊重され、社会の一員として心豊かに生きられる明るい社会づくりを目指し、知恵と経験を生かし、地域の多様な活動と協働します。
- ✳ 自立したボランティアとして、常に自ら知識を求め、自己研鑽に励むとともに、あたたかな人間愛を忘れることなく、個々の小さな力を大きな力にするために、会員相互に協力し、また地域の人々と共に行動します。

渡しいたしました。本年は、児童養護施設埼玉育児院の施設内除草作業や、後援会主催チャリティーコンサートへの協力、また川越市立博物館では小学3年生の社会科体験学習があり、「学習アドバイザー」として更女は炭火アイロンがけの補助を行いました。子供たちの喜ぶ顔が見られて嬉しかったです。

更生保護女性会は、女性の立場からできる犯罪予防と非行少年の更生に協力し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に寄与することを目的としたボランティア団体です。目的に向かって今後の活動を、コロナに負けることなく続けていきたいと思っています。会員の皆さん頑張りましょう。

川越少年刑務所

集いの会

大東地区 佐藤 つね子

令和4年5月17日(火)、私にとつて不安な一日がやって来しました。初めて「川越少年刑務所集いの会」へ参加する日です。

まず、川越駅に行かなければ……。刻々とその時が近づいて来ます。(今回は川越更女より5名が参加)

第一に何を話したら良いのだろうか? どんな人なのか? どんな世界を見つめているのだろうか? 不安な気持ちのまま臨みました。

部屋に案内されると、何とお互いの膝が当たる近さで、向かい合って言葉を交わさなければならぬことになりました。何の知識も無い私に十数分間もつのだらうか? 現実には目の前に……。

自分なりに話し合おうと思えばテレビ・マンガ・スポーツ・食

べ物等、思いつくままを話題にしました。感じ良く接する彼はそれなりに話してくれて、何とか和やかな話ができました。

この人たちが出所してからの住みやすい社会をつくれたらなあ……と考え、無事に終えたことにホッとしながら帰りの車に乗りました。

児童養護施設 埼玉育児院へ協力

川越市笠幡に110年の歴史を持つ、児童養護施設埼玉育児院があります。こちらでボランティア活動をしている埼玉育児院サポートクラブに、今年から協力を申し出て、環境整備手伝いの除草・花苗植え付け作業や院内清掃に参加させていただきました。

また9月10日(土)には、3年ぶりのチャリティーコンサートが開催され、更女会員もチケット購入に協力。やまぶき会館での素

敵なコンサートを楽しまました。これからも、子どもたちの明るい未来のために協力していきたいと思えます。



中堅会員研究協議会に 参加して

高階地区 田中 幸子

令和4年10月31日(月)、さいたま共済会館にて中堅会員研究協議会が行われました。今回は『地域との連携を図った実践を通して、未来に向けた「更生保護女

性会活動』の在り方を学ぼう』と題して、飯能地区・さいたま中央地区・北本地区のパネルディスカッション形式での研究協議会でした。

コーディネーターの幸島聡氏は、日本更生保護協会常務理事、事務局長として活躍されています。パネリストの発表は地域に合った活動(ミニ集会・子ども食堂・絵手紙等)交流を工夫された活動報告で、とても参考になりました。幸島氏のお話しの中に「ほっとけない」から「行動する」その行動が「地域を編む」とありました。歴代会長のお言葉でもある「ミニ集会」「井戸端会議」これこそが、活動の基本であるということが分かり、日常生活に自然と存在するものを示しており、何か結論を出すような性質のものではなく、また来たい! と思える集い、出会いの場こそが活動の基本。一層の努力をしなければと気持ちを新たにしました。

第33回 防犯並びに 暴力排除推進大会

第5地区 谷内 正代

令和4年11月14日(月)、ウエスタ川越大ホールにて、防犯並びに暴力排除推進大会が開催されました。式典後には芸人による実際にあった詐欺の口を例にした寸劇の披露があり、「私は騙されないと思っている人」「慌てる人」ほど騙され易い！と痛感し、慌てず冷静な行動が大切だと思いました。

優しく家族を大事に思う気持ちにつけこむ、卑劣な行為は絶対に許せません。

コロナ禍で余裕を失い、近所付き合ひも希薄で他人に厳しい空気に怖さを感じます。今後は強い連帯感で行動し、犯罪の無い住み易い街であるように願っています。



川越市市制施行100周年 記念式典に参加して

名細地区 今給黎 克子

12月1日(木)、ウエスタ川越大ホールにご招待いただきました。

第一部は(1)祝い木遣り・はしご乗り・纏が軽やかに堂々と披露された伝統芸に会場は拍手喝采。(2)市制施行100周年記念動画上映。(3)開式 川合市長式辞に始まり、来賓祝辞。

お祝いの演奏 ジャズピアノ ストの素晴らしい演奏に続き、壇上では表彰並びに顕彰 市制の伸展に貢献された方々、地域で活躍されている皆様、家庭・地域・行政のご協力に改めて感謝無量でした。

心に残ったのは、大正11年12月1日の人口は3万人が、今では35万人を超える中核市へと発展。このたび完成した川越市の思い出の情景600枚を厳選編集、鮮明画質の写真誌を一人でも多くの皆さんに紹介したいです。

す。

「本当に住みやすい街大賞2023」で川越が第8位に選ばれたのを見て、子供たちのためにもみんなが安心して住める川越になりますように、もつと川越を好きになりたいと思った一日でした。

主催者の皆様から感謝いたします。

『学習アドバイザー』再開

令和5年1月24日(火)〜3月3日(金)(川越市立博物館) 市内小学校3年生が「むかしの勉強・むかしの遊び」展で社会科学学習をしました。その中で児童は石臼で大豆を挽いて、きな粉にする体験や、熱くて重たい炭火アイロンでハンカチにアイロンをかける体験もします。

私たちは『学習アドバイザー』として、毎回2名で炭火アイロンの担当をしています。今回は

14日間の当番を決め、19名が参加しました。3年ぶりに、可愛い児童のキラキラした真剣な瞳、素直に先生のお話を聞く姿勢を見て、活動できる喜びを感じました。

笑顔で先生と部屋を後にする児童に、こちらも「元気でね！」とマスク越しに精一杯の笑顔をおくりました。



(3)

受賞おめでとう

『第69回埼玉県更生保護大会』

令和四年十一月二十五日(金)

戸田市文化会館にて

○関東地方更生保護女性連盟

会長表彰 新井 ハツ

○さいたま保護観察所

所長感謝状 白井よし子

菊田 洋子

岸野 素子

加藤 道子

小沼 久子

○埼玉県更生保護女性連盟

会長表彰 金子 真弓

高柳 香子

矢島 和子

塩野 楨子

宮根 順子

福羅喜代子



《愛の募金》ありがとうございました

… 令和4年度愛の募金 …

募金総額	555,810円
県更女連盟	138,000円
地区活動費	417,810円

上記の通りご報告致します。

会計 西村 雅子
新井 ハツ

今年度も7月より愛の募金活動を実施、46団体494名の方々より温かいご支援をいただきました。誠にありがとうございました。

地区活動費の中より、市内の中学校7校(高階中、高階西中、寺尾中、砂中、福原中、大東中、大東西中)に「愛の図書費」として、図書カードをお届けしました。

更生保護法人清心寮、

川越少年刑務所へは各々に役立つ品を寄贈いたしました。

感謝のお言葉やお礼状をいただき、皆様からのお気持ちを伝える活動ができました。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

川越少年刑務所への寄贈品



高階中学校校長室にて

編集後記

「かわごえ更女たより」は、創刊号より四半世紀となり、今回は節目の第25号をお届けいたします。

世の中が大変だったこの3年間をようやく乗り越えて、改めて考えてみたこと。更生とは…(調べてみると)

○生き返ること

○精神的、社会的に、また物質的に立ち直ること

深い意味を知り、人生の基本をまず、自分自身が大切にしなければと思いました。

先輩方が築き上げた温かい活動を次の節目へと繋げましょう。

発行にあたり寄稿や写真をご提供くださった皆様にご心より感謝申し上げます。(櫻本)

広報委員

小川・表・小谷野・白井
藤田・宮川・櫻本

令和五年三月三十一日発行

川越市更生保護女性会

連絡所

川越市岸町一丁目四十九番一(新井)
☎〇四九一二二二一七二〇